

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	総合演習Ⅱ		
担当者(Instructors)	尚 爾華	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

「健康づくりの基本を学ぶⅡ」 運動面からの健康づくりについて理論と実践の両方のスキルを高めることを目的とする。 座学では、いろんなスポーツと健康の関係など「運動と健康」の基本知識を身に着ける。実技としては、ゲストスピーカーによるヨガのレッスンを受けることで、実践力を養う。また、ゼミ生がテーマに沿って発表し、良いプレゼンテーションの仕方を学習する。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	対面形式で行う。グループワークとプレゼンテーションを実施する。

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス	ガイダンス。演習の運営方法の説明。	<input type="checkbox"/>
第2回	情報リテラシー講習会（書籍・雑誌・文献の探し方）	学術情報センタースタッフによる講習会（書籍・雑誌・文献の探し方）。「運動と健康」に関連する書籍を探し出し、貸出し、読書文を作成する。	<input type="checkbox"/>
第3回	レポートをパソコンで作成する。ワードの使い方の練習をする。	運動による健康づくりをテーマとした資料を時間内でワードで決まった様式で作成する。	<input type="checkbox"/>
第4回	レポートをパソコンで作成する。図表の作成方法を練習する。	運動による健康づくりに関する統計データをもとに、図表を作成する。	<input type="checkbox"/>
第5回	学術論文を検索する。	動による健康づくりに関する学術論文を5本検索する。	<input type="checkbox"/>
第6回	学外活動の検討	実施内容を検討する。	<input type="checkbox"/>
第7回	学外活動の準備①	企画・運営、役割分担を決める。	<input type="checkbox"/>
第8回	学外活動の準備②	企画・運営の事前準備、現場の下見、先方と打ち合わせ	<input type="checkbox"/>
第9回	学外活動の実施	企画内容を実施する。	<input type="checkbox"/>
第10回	運動面からの健康づくり（サッカー、バスケットボール、ボクシング）	運動面からの健康づくり（サッカー、バスケットボール、ボクシングと健康についてレポートを作成し、発表する）	<input type="checkbox"/>
第11回	運動面からの健康づくり（ヨガ、ダンス、ボルダリング）	運動面からの健康づくり（ヨガ、ダンス、ボルダリングと健康についてレポートを作成し、発表する）	<input type="checkbox"/>
第12回	運動面からの健康づくり（世界の伝統スポーツ）	世界の伝統的なスポーツと健康についてレポートを作成し、発表する。	<input type="checkbox"/>
第13回	演習活動の自己評価書の作成	出席や演習活動への貢献度について自己評価を行う。	<input type="checkbox"/>
第14回	後期演習活動の振り返り・フィールドワークの反省会	後期演習活動の振り返り・大学祭の反省会。	<input type="checkbox"/>
第15回	後期演習活動のまとめ	後期活動全体へのまとめ。	<input type="checkbox"/>

## ■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

自分で授業前に配布資料やインターネットで授業テーマと内容を予習し（2時間程度）、授業後に課題レポートを作成する（2時間程度）

## ■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題レポート・練習問題は翌週フィードバックし、解説とともに解答例を提示し、全体で共有する。

■授業の到達目標と評価基準 (Course goals)		
区分 (Division)	DP区分 (DP division)	内容 (DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	健康づくりの基本知識を習得し、活用ができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	健康に過ごしていくにはどうすれば良いかを栄養面から考えることができ、発信ができる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	健康に過ごしていくにはどうすれば良いかを栄養面から考えることができ、グループワークではメンバーと協力し、課題解決ができる。

■成績評価 (Evaluation method)				
筆記試験 (Written exam)	実技試験 (Practical exam)	レポート試験 (Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他 (Other)
			100%	
<b>授業内試験等 (具体的内容) (Specific contents)</b> 積極的に参加し、授業への貢献度を評価する。				

■テキスト (Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など (Text name)	ISBN (ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書 (references books)		
No. (No.)	テキスト名など (Text name)	ISBN (ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		